

問1 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年

千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、市場に流通する通貨供給量を減らすことで、企業の設備投資を抑制させる。 | 2. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を減らすことで、物価の上昇を抑える。 | 3. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、企業などへの貸し出しを促進させる。 | 4. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、消費者の購買意欲を高める。 |
|---|--|---|--|

問2 外国為替市場において、1ドル＝100円だった為替レートが1ドル＝140円になるような、他国の通貨に対して日本円の価値が相対的に下がる現象を何と呼びますか。また、その際、海外から輸入される牛肉などの輸入価格はどうか変化しますか。正しい組み合わせを選びなさい。（2026年

鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 円安となり、輸入価格が上昇する | 2. 円安となり、輸入価格が下落する | 3. 円高となり、輸入価格が上昇する | 4. 円高となり、輸入価格が下落する |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

問3 企業が事業を行うために必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関が貸し手と借り手のなかだちとなり、資金を融通する仕組みを何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 間接金融 | 2. 直接金融 | 3. 信用創造 | 4. 市場経済 |
|---------|---------|---------|---------|

問4 日本の中央銀行である日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありませんが、民間の銀行（一般の銀行）に対しては資金の貸し出しや預金の受け入れを行っています。このような役割を何と呼びますか。（2020年 香川県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 市中銀行 | 4. 発券銀行 |
|----------|----------|---------|---------|

問5 景気が後退している状況において、日本銀行が買いオペレーションを実施した場合、市場の利子率（金利）と企業の経済活動にはどのような変化が起きると期待されますか。その因果関係を説明したものとして適切なものを選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 市場の通貨量が減ることで利子率が上がり、企業の借金が減るため経営状態が改善する | 2. 市場の通貨量が増えることで利子率が上がり、企業は将来のインフレに備えて生産を縮小する | 3. 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす | 4. 市場の通貨量が減ることで利子率が下がり、デフレが解消されて企業の売上が増加する |
|--|---|--|--|

問6 日本銀行は、一般的な銀行とは異なる特別な役割を持つため「中央銀行」と呼ばれます。その役割の一つである「発券銀行」としての業務内容について、正しく説明しているものを選びなさい。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 政府の資金（国庫金）を預かり、税金の受け取りや公共事業費の支払いを行う。 | 2. 日本銀行券を独占的に発行し、世の中に出回るお金の量を管理する。 | 3. 個人や企業から預金を預かり、住宅ローンや設備投資のための資金を貸し出す。 | 4. 経営が悪化した一般の銀行に対して、最後の貸し手として資金を融通する。 |
|---|------------------------------------|---|---------------------------------------|

問7 日本の金融の仕組みを説明したレポートにおいて、家計や企業が金融機関に預けた預金を、金融機関が自身の判断と責任で資金を必要とする企業などへ貸し出しを行う形態を何と呼びますか。最も適切な用語を選びなさい。（2026年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 自己資金調達 | 2. 株式投資 | 3. 直接金融 | 4. 間接金融 |
|-----------|---------|---------|---------|

問8 日本銀行が不況期に買いオペレーションを行い、市場に流通する通貨量を増やした結果、期待される経済への影響として適切なものを選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 政府の借金である国債がすべて回収され、国の財政赤字が解消される | 2. 通貨の価値が急激に高まり、輸入品の価格が安くなることでデフレが進行する | 3. 銀行の貸出金利が上がり、個人の貯蓄意欲が高まることで消費が抑制される | 4. 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|---|

問9 好況期において、日本銀行が「売りオペレーション」を行う主な目的と、その仕組みを説明した文として正しいものを次から選びなさい。（2020年 鳥根県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。 | 2. 市場の通貨量を増やすことで金利を低下させ、企業の投資を促進するため。 | 3. 日本銀行の保有する国債を減らすことで、政府の財政赤字を解消するため。 | 4. 通貨の流通を活発にすることで失業率をさらに下げ、国民所得を増やすため。 |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|

問10 日本銀行が「発券銀行」として紙幣を発行し、その流通量を調整している最も主要な目的は何ですか。その背景を含めた説明として適切なものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 国全体の予算を編成し、公共事業や社会保障に必要な資金を分配するため | 2. 一般の個人や企業に対して直接的な融資を行い、利息による利益を得るため | 3. 通貨の供給量を操作することで、物価の安定を図り経済を安定させるため | 4. 外国との貿易を円滑に進めるため、すべての国の通貨を日本銀行券に統一するため |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|

問11 日本銀行が一般の銀行に対して国債などを売却する「売りオペレーション」を実施した際、その後の社会経済に与える影響として最も適切な仕組みはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 政府が公共事業を増やすための資金が確保され、有効需要が創出されることで失業者が減少する。 | 2. 市場の通貨量が増えることで人々の購買意欲が高まり、デフレーションからの脱却が促進される。 | 3. 銀行の資金が減って金利が上がるため、企業が資金を借りにくくなり、景気の過熱が抑えられる。 | 4. 銀行の資金が増えて金利が下がるため、企業が資金を借りやすくなり、景気が刺激される。 |
|---|---|---|--|

問12 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関には認められていない特別な役割を3つ持っています。そのうち、日本の紙幣である日本銀行券を独占的に発行できる唯一の銀行としての役割を何といいますか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 発券銀行 | 2. 市中銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 銀行の銀行 |
|---------|---------|----------|----------|

問13 クレジットカードを用いた取引では、消費者が店で商品を受け取った際、代金をカード会社が一時的に立て替え、後日消費者がカード会社に代金を支払う仕組みになっています。このような仕組みにおいて、将来の支払いに困らないよう「計画的な支出管理」が求められる理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 商品の購入と同時に銀行口座から即座に代金が引き落とされるため、残高不足による決済不能を防ぐ必要があるから | 2. 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから | 3. クレジットカードは自身の収入に関わらず、利用限度額の設定なしに無制限に利用することが一般的であるから | 4. カード会社が代金を立て替えることで、消費者は将来の支払い義務を負わずに商品を受け取ることができるから |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、企業などへの貸し出しを促進させる。	不況時には世の中にお金が回りにくくなるため、日本銀行は「買いオペレーション」を実施します。これは日本銀行が民間銀行（市中銀行）の保有する国債を買い取ることで、その代金として大量の通貨を市場に流し込む仕組みです。その結果、通貨供給量が増加して金利が下がり、銀行が企業や個人へお金を貸し出しやすくなるため、景気の回復が期待されます。
問2	答え 1 円安となり、輸入価格が上昇する	1ドルを交換するために必要な日本円が100円から140円に増えることは、ドルに対して円の価値が下がったことを意味するため「円安」と呼びます。この状況では、海外から1ドルの商品を買い付ける際により多くの円を支払わなければならないため、輸入価格は上昇し、家計や企業のコスト負担が増加する要因となります。
問3	答え 1 間接金融	家計などの貸し手と、企業などの借り手の間に、銀行などの金融機関が介在して資金をやり取りする仕組みを指します。金融機関がリスクを負って資金を管理し、なかだちとして機能することが特徴です。
問4	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、民間の金融機関（一般の銀行など）を相手に、資金が不足している際に貸し付けを行ったり、余剰資金を預金として受け入れたりする役割を担っています。これを「銀行の銀行」と呼びます。個人が日本銀行に口座を作ることはできませんが、銀行同士の決済や、金融システムの安定のためにこの機能が使われています。
問5	答え 3 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす	日本銀行が買いオペレーションを行い市場の通貨量が増えると、資金の供給が需要を上回るため、お金を借りる際のコストである「利子率」が低下します。利子率が下がれば、企業は低い利息で銀行から資金を借りて新しい工場を建てたり、機械を導入したりする（設備投資）といった経済活動を行いやすくなります。これにより、社会全体の経済活動が活発になり、不景気からの脱却が図られます。
問6	答え 2 日本銀行券を独占的に発行し、世の中に出回るお金の量を管理する。	日本銀行は、私たちが普段使用している一万円札や千円札などの「日本銀行券」を唯一発行できる機関です。この「発券銀行」としての機能を通じて、通貨の供給量をコントロールし、お金の価値を一定に保つ役割を果たしています。政府の資金を扱うのは「政府の銀行」、一般の銀行に融資を行うのは「銀行の銀行」としての役割であり、個人との取引は行いません。
問7	答え 4 間接金融	家計や企業から預けられた資金を、銀行などの金融機関が仲介役となって企業などへ貸し出しを行う仕組みを指します。資金の貸し手と借り手の間に金融機関が入るため、この名称と呼ばれます。これに対し、企業が株式や社債を発行して証券市場から直接資金を募る形態を直接金融と呼びます。
問8	答え 4 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる	買いオペレーションによって市場に出回る通貨量が増えると、お金を借りやすくなるため、銀行の貸出金利（利子率）が低下します。金利が下がれば、企業は新しい工場を建てるための資金を借りやすくなり、個人も住宅や自動車のローンを組みやすくなるため、社会全体の投資や消費が促進され、景気の回復へとつながります。国債の回収は一時的な通貨量調整の手段であり、国の財政赤字そのものを解消する仕組みではありません。
問9	答え 1 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。	好況時に日本銀行が国債を売ると、民間金融機関が手持ちの資金を支払いに充てるため、市場の通貨量が少なくなります。お金の供給が減ると資金調達が難しくなり、金利（利子率）が上昇します。これにより、企業や個人の借り入れが抑制され、消費や投資の勢いが落ち着くことで景気の過熱が抑えられます。
問10	答え 3 通貨の供給量を操作することで、物価の安定を図り経済を安定させるため	日本銀行は、市場に流通する通貨の量を調整することで、物価が急激に上がったり下がったりすることを防いでいます。この機能は景気の波を穏やかにするために不可欠です。国の予算編成は政府の役割であり、個人や企業への直接融資は一般の普通銀行が行う業務です。また、他国の通貨を統合する役割も持っていません。
問11	答え 3 銀行の資金が減って金利が上がるため、企業が資金を借りにくくなり、景気の過熱が抑えられる。	売りオペレーションによって民間銀行が持つ資金が減少すると、資金の貸し借りの際の価格である「金利（利子）」が上昇します。金利が上がると、企業は利息負担を嫌って設備投資などのための借り入れを控えるようになります。この一連の流れにより、社会全体の経済活動のスピードが緩やかになり、物価の急激な上昇が抑えられます。
問12	答え 1 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券（紙幣）」を発行できる権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、世の中に出回る通貨の量を調整し、物価や経済の安定を図る役割を担っています。他の選択肢である「銀行の銀行」は民間銀行と取引を行う役割、「政府の銀行」は国庫金の管理などを行う役割を指します。
問13	答え 2 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから	クレジットカードは、購入時点では現金の支出を伴わないため、心理的に「お金を使った」という感覚が薄れやすい傾向にあります。そのため、自分の将来の収入や他の支出予定を十分に考慮せずに利用を重ねてしまうと、後日の支払い期日に資金が不足し、返済が困難になるリスクがあります。このような事態を避けるために、自身の経済状況を把握した計画的な利用が不可欠です。